



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



大和証券グループの概要 (2018年12月1日現在)

- 会社名 株式会社 大和証券グループ本社 (Daiwa Securities Group Inc.)
- 本社所在地 〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
- 電話 03-5555-1111 (代表)
- 代表者 執行役社長 中田 誠司

大和証券グループウェブサイト <http://www.daiwa-grp.jp/csr/>

# 世界の目標の実現のために、 証券会社として役割を果たします。

世界には多くの社会的課題が存在します。

それらの課題を生み出した一因として、企業の事業活動があげられます。その反面、それらの課題を解決する推進力としても企業が果たす役割への注目度が高まっています。

かつて企業は、より多くの経済的利益を上げることで株主利益の最大化を目指してきました。もちろん、営利企業として利益を追い求め、その還元により株主に報いることは間違いではありません。しかし、今日において株主利益とは、社会、そして、すべてのステークホルダーから共感を得られる事業活動による利益であることが重要となってきたのだと思います。

自社の事業を通じて創出した「経済的価値」と、社会的課題を解決することで、社会から認められ、必要とされる「社会的価値」の両方、すなわち「共通価値」を追求することが、今後の営利企業の定義となるのだと思います。

大和証券グループでは、今年度策定した中期経営計画

“Passion for the Best” 2020 において、経営戦略の根底に SDGs 達成を通じた共通価値の創造の観点を取り入れました。

これまでもインパクト・インベストメントの推進等、金融・資本市場を通じて社会的な課題の解決を図る取組みを実施してきましたが、それに満足することなく、ここからさらに加速して SDGs 達成に向けた取組みを進めます。そのなかで、環境や貧困などの社会的課題の解決に貢献したい企業、そして社会貢献に取り組みたい人々との架け橋となっていきたいと考えております。

複雑に絡まる社会的課題に対し、何ができるか、そして、何をすべきかを真剣に考え、それを実行することが、経営者としての私の使命だと思います。

今後も社会的課題の解決に積極的に取り組み、次の100年も社会に必要とされる企業であり続ける。そんな私たちの想いと取組みについて、ご理解を深めていただければ幸いです。

**SDGs**  
Sustainable Development Goals  
(持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するために、17のゴール・169のターゲットを掲げています。途上国だけではなく、日本も含む先進国の在り方を問い、その取組みの過程で“誰一人取り残さない (no one will be left behind)”ことを誓っているのが特徴です。

## Passion for SDGs 2018

大和証券グループ SDGs 宣言

大和証券グループは、2015年に国連にて採択された「SDGs (Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標))」を、世界を牽引する重要な目標と捉え、当社グループビジネスを通じ、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立することで、豊かな社会と国民生活の実現に積極的に取り組んでまいります。

### 共通価値の創造

さまざまなお客様のニーズに対応した幅広いサービスを提供する総合証券グループとして、既存概念にとらわれない柔軟な発想で社会的課題の解決に取り組むことにより、企業としての経済的価値と社会的価値を同時に創造していきます。

### ステークホルダーとのパートナーシップ

国、企業、投資家等を繋げる役割を担う当社グループの特徴を活かし、各ステークホルダーとのパートナーシップを通じて幅広い社会的課題解決への貢献を目指します。

### 多様な人材の育成と働き方の実現

ワーク・ライフ・バランスの推進、女性やベテラン層の活躍支援を始め、性別や年齢を問わず全ての社員が働きがいを感じ、能力を最大限発揮できる環境をすることで、多様な人材の育成及び働き方の実現に取り組んでいきます。

### 認知度向上と浸透

金融・資本市場の担い手として、全従業員へ SDGs の理解、浸透を図ると共に、当社グループビジネスを通じてお客様の SDGs への認知度向上に貢献していきます。

株式会社大和証券グループ本社  
執行役社長 CEO

中田 誠 司 Seiji Nakata





# 私たちの社会貢献の考え方

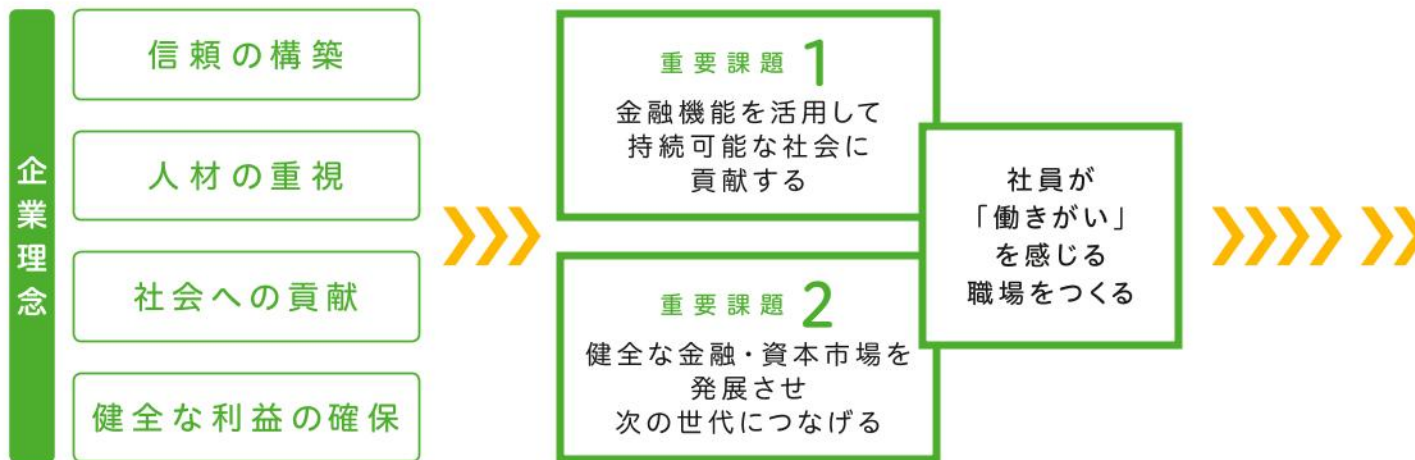
## ～企業理念とSDGsへのアプローチ～

社会情勢や地球環境、世界が目まぐるしく変化するなか、大和証券グループは、“変わらないもの”として企業理念を大切にしています。

この企業理念を基点としてCSR\*を進めていく上で、「重要課題1」「重要課題2」「社員が『働きがい』を感じる職場をつくる」の3つの柱を立てていることも、私たちの基盤です。

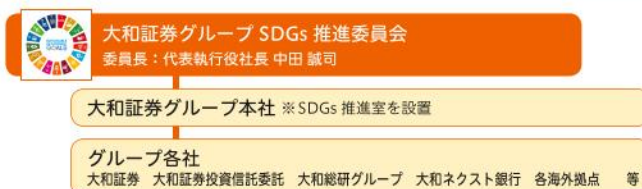
また、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）については、世界を牽引する重要な目標だと捉え、国内外で事業を展開していく上で、重要な共通言語として、17の社会的課題にアプローチしていきます。

\* CSR：Corporate Social Responsibilityの略。企業の社会における責任（信頼性）を示す



### SDGs推進委員会の発足

大和証券グループでは、SDGsへのグループ横断的な対応を協議するため、社長を委員長とした「SDGs推進委員会」を新設しました。当委員会には社外有識者の方に常時ご参加いただき、社外からの新鮮な発想および最先端の情報を活かした検討を行なっていきます。



## SDGsへのアプローチ



### 事業活動を通じて幅広い社会的課題解決に貢献

インパクト・インベストメント債券をはじめとする、社会課題の解決を図ることを目的とした商品の提供等を通じて、これらの課題解決に取り組む企業や国際機関とともに、さまざまな課題解決に貢献できると考えています。

▶▶▶P.5



### 健全な金融資本市場を支える

▶▶▶P.9

資金を必要とする企業を応援し、上場サポートからコンサルティングまで行なっています。資金の流れを生み出し、イノベーションが生まれやすい土壌形成、より活発で安定した金融市場づくりに貢献することで、社会基盤を支え続けます。



### 子どもの貧困問題解消へ

▶▶▶P.11

資本主義の恩恵を大きく受けてきた証券会社として、社会に広がる格差の問題に対して取り組むことが私たちの責任だと考えています。なかでも子どもの貧困の深刻化に関しては貧困の連鎖を食い止めるためにも重要な課題だと捉え、新しいプロジェクトをスタートさせています。



### 生きる力を身に付けるため お金についての教養を幅広い世代へ

▶▶▶P.13

幅広い世代のお金に関する知識や教養を高め、市場のお金の流れを活発にすることが、未来の金融市場の活性化につながると考え、多様な学びの機会を提供しています。



### すべての社員が働きがいを感じられる企業を目指して

▶▶▶P.15

ワーク・ライフ・バランスの推進および健康経営等を通じて、すべての社員が働きがいを感じられる職場を目指しています。

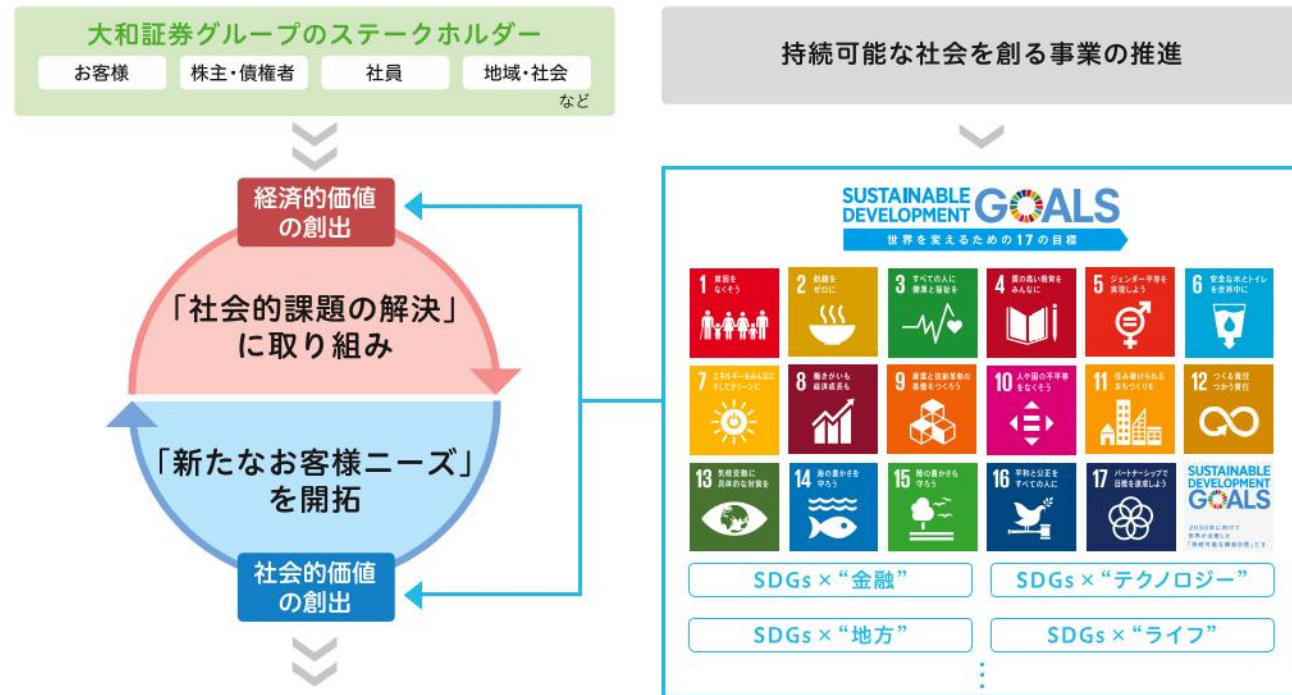




# 事業活動を通じて 幅広い社会的課題解決に貢献

今日、企業も社会の一員として、  
環境や貧困などの社会的課題の解決に貢献することが期待されています。  
また、多くの人々が投資を通じて社会的課題に取り組みたいと考えています。  
大和証券グループでは金融機能を通じ、  
それら二つのニーズを結びつける役割も担っています。

## 共通価値(Shared Value)創造のサイクル



豊かな社会・国民生活の実現に貢献する大和証券グループ

## SDGs × “金融”

### インパクト・インベストメント

インパクト・インベストメントは、投資に際して、経済的利益を期待するだけではなく、貧困や環境問題などの社会的課題に対して解決を図る用途に資金の使途を限定する投資を指します。

大和証券グループは、日本におけるインパクト・インベストメント債券のパイオニアとして、公的機関や金融機関が社会的課題の解決を目的に発行する債券を、日本のお客様に販売しています。

個人投資家向けグリーンボンドに関する具体的な取組みとして、大和証券は2017年12月に国内地方自治体として初となる東京都の「東京グリーンボンド(外貨)」を、2018年9月には事業会社として初となる「株式会社商船三井 グリーンボンド」を引受・販売しました。

また、2018年11月には当社グループとして初となるグリーンボンドを発行するなど、投資家の皆様に新たな投資機会を提供しています。

### 個人投資家向けインパクト・インベストメント債券の実績



大和証券調べ (2008年3月～2018年3月末現在)

## SDGs × “金融”

### 大和ネクスト銀行 「応援定期預金」

大和ネクスト銀行の「応援定期預金」はお預入れいただいた残高に一定割合を乗じた金額を、大和ネクスト銀行が3テーマ8団体へ寄付しています。2018年10月末現在、累計40億円以上のお預入れをいただいています。

お客様からは「社会課題を知る良いきっかけになった」といった反応をいただいております。今後も同預金を通じて支援の輪を広げていければと考えています。

### 定期預金を通じて応援できる8団体

預金名	応援団体
<b>障がい者スポーツ</b>	
スポーツ用義足で“風を感じる”	公益財団法人鉄道弘済会義肢装具サポートセンター
ホースセラピー(障がい者乗馬)	一般財団法人日本障がい者乗馬協会
<b>子どもの医療支援</b>	
在宅医療の子どもたち	独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
医療型短期入所施設「もみじの家」	国立研究開発法人
長期入院の子どもたち	国立成育医療研究センター
<b>貧困状態にある子どもの自立支援</b>	
児童養護施設を退所する高校3年生	茨城県内の児童養護施設
児童福祉施設のこどもたちの将来の夢	NPO法人 こどもサポートネットあいち
こども食堂普及	石川県内のこども食堂
夢に向かって! こどもスマイルプロジェクト	公益財団法人パブリックリソース財団





大和証券グループは、創業以来大切にしてきた証券ビジネスをコアとしながらも、社会的課題解決型の成長への投資として、当社グループが培ってきたさまざまな証券・金融ビジネスのノウハウを活かしたビジネスを、FinTech、ヘルスケア、エネルギー・インフラ、農業などの多様な分野でスタートさせました。

SDGs × “テクノロジー”

次世代金融サービスの創出：新会社 Fintertech



近年、スマートフォンを代表とするさまざまなデジタルデバイスが急速に私たちの日常生活に普及するとともに、人工知能(AI)、ビッグデータなど最先端のICT技術を活用し、ユーザーの個々のニーズを満たすサービスを提供できる時代を迎えています。このようななか、大和証券グループは、こういったデジタルデバイスに慣れ親しんだ世代のお客様に対して、細分化されたニーズに適した多様なサービス・商品を提供することを目的として、2018年4月新会社 Fintertech を設立しました。今後は、クラウドファンディングやブロックチェーンを活用したサービスなど、お客様の多様なニーズに対応するために新たな金融サービスを開発していきます。

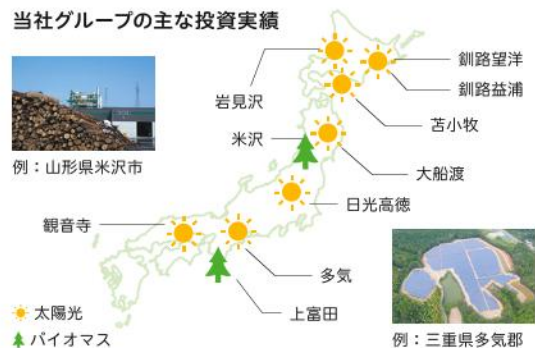


SDGs × “テクノロジー”

再生可能エネルギーやインフラへの投融資の推進：新会社 大和エネルギー・インフラ



これからの日本のエネルギー、インフラの課題には、再生可能エネルギー推進をはじめ、エネルギーシステムの整備、インフラ老朽化など、戦略的な取組みが不可欠です。海外においても、急速な経済発展を続ける新興諸国・地域を中心に、エネルギー、インフラ需要は高まっています。そのようななか、当社グループでは、これまで大和PIパートナーズが再生可能エネルギーへの投資を行ってきましたが、さらに事業領域の拡大、事業展開を加速するために大和エネルギー・インフラを設立しました。再生可能エネルギー分野だけではなく、空港、航空機、道路、鉄道などをはじめとするインフラ分野や、森林、発電燃料等の資源分野への投資進出を計画しています。



SDGs × “地方”

事業承継分野でのソリューション提供の拡大：新投資事業有限責任組合 大和 ACA 事業承継ファンド



日本の中小企業等の約半数が後継者不在で、このままでは今後10年間の累計で雇用(約650万人)、GDP(約22兆円)を失う可能性があり、事業承継は大きな社会的課題の一つです。

2018年10月に設立した大和ACA事業承継ファンドは、中小企業が持つ優れた技術・サービスを次世代に承継し、事業継続により連続性を持った技術・サービスの革新を促すものです。当社グループは本ファンドを通じて、日本の持続可能な経済発展を推進していきます。



優れた技術・サービスを次世代に承継

SDGs × “地方”

農業の産業化を推進：新会社 大和フード & アグリ



日本の農業セクターを取り巻く農業従事者の高齢化、後継者不足問題の解決に向け、ICT技術を活用し、効率性を高めた新しい農業生産技術が注目を集めています。2018年11月、リスクマネーを提供することにより新しい技術を積極的に導入し、農業の大規模、効率化推進を支援することなどを目的し、大和フード & アグリ(DFA)を設立しました。当社グループはDFAを通じて、農業セクターを取り巻く社会的課題の解決の一翼を担っていきます。



SDGs × “ライフ”

ヘルスケア分野へ本格参入：新会社 大和 ACA ヘルスケア



医療・介護需要の急拡大、医療費削減の必要性など、ヘルスケア分野には社会的な課題が山積みされています。そこで、当社グループでは、2018年10月、医療・介護事業に特化した投資ノウハウを持つACAヘルスケア株式会社を子会社化し、大和ACAヘルスケアとして、日本およびアジアを中心とした海外にもヘルスケア分野への本格展開を図ってまいります。

大和ACAヘルスケアは、これらの投資を通じて医療・介護事業を支援し、医療・福祉の向上に貢献していきます。





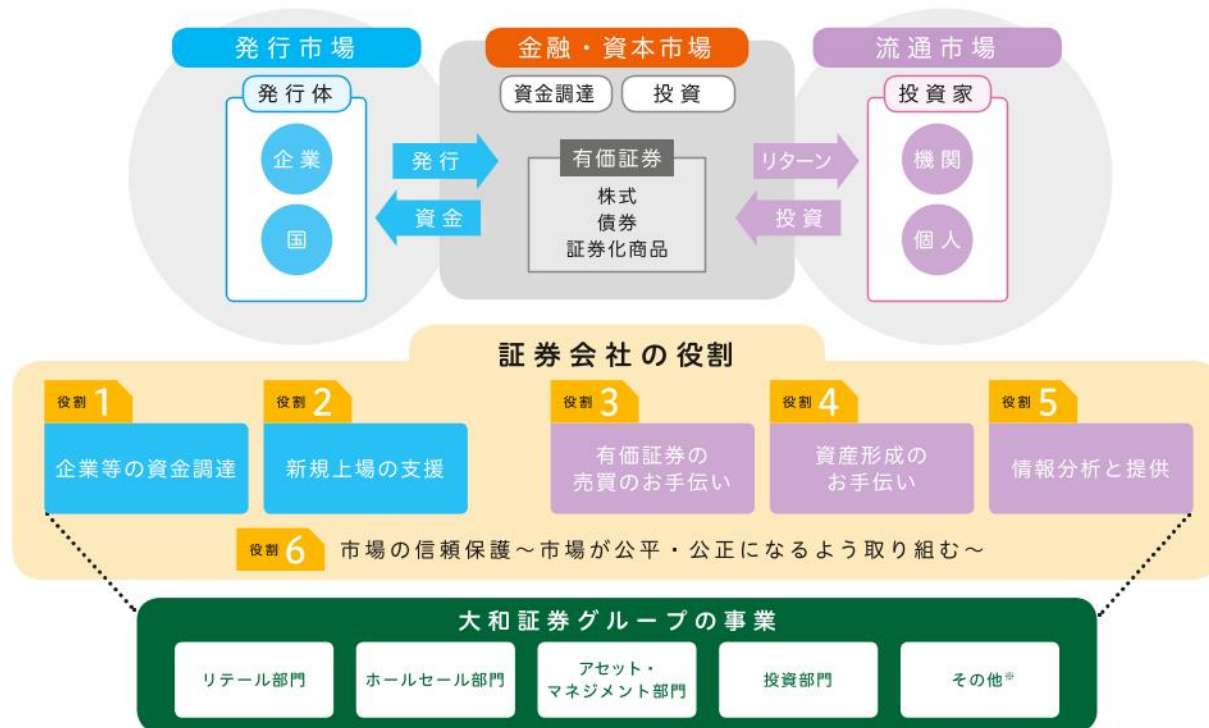


# 健全な 金融資本市場を支える

～大和証券グループの6つの役割～

資金を必要とする企業を応援し、上場サポートからコンサルティングまで行なっています。資金の流れを生み出し、イノベーションが生まれやすい土壌形成、より活発で安定した金融市場づくりに貢献することで、社会基盤を支え続けます。

## 大和証券グループの考える、社会のなかでの証券会社の役割



\* ITサービス・経営コンサルティング・ネットバンキングなどが含まれます

## 役割 1 企業等の資金調達

企業は有価証券(株式や債券)を発行することで資金を得て、新製品の開発や新たなサービスの提供に活用しています。これら有価証券を用いた資金調達は、企業の成長とそれに伴う経済の成長に貢献します。大和証券グループは、有価証券を利用した資金調達を企業等にアドバイスしています。

## 役割 2 新規上場の支援

経済の成長には新たな企業の登場と成長が欠かせません。新規上場はその企業の成長に貢献するのみならず、さまざまな投資家に投資機会を提供します。当社グループは、新規上場のお手伝いをしています。

## 役割 3 有価証券の売買のお手伝い

株式や債券などの有価証券は主に証券取引所などの市場で取引されます。証券会社は、お客様の有価証券売買をお手伝いしています。また、売買された有価証券が正確に受け渡されるようにすることも重要な仕事です。

## 役割 4 資産形成のお手伝い

当社グループでは、多様な商品やサービスを提供し、お客様に合わせたご提案をすることで、ライフプランニングと資産形成をお手伝いします。

## 役割 5 情報分析と提供

多くのエコノミスト、アナリストおよびストラテジストが、最新の動向と綿密な分析を合わせた多様な情報を、わかりやすい形でご提供しています。

## 役割 6 市場の信頼保護

有価証券の市場は、社会の大切なインフラであり、参加者の信頼の上に成り立っています。当社グループでは、市場が公平・公正であるために、情報の管理や取引内容のモニタリングを厳密に行なっています。また、日夜進歩する取引手法への対応や新たな課題等についても積極的に取り組んでいます。



1 貧困をなくそう



# 子どもの貧困問題解消へ

— こどもスマイルプロジェクト始動 —

資本主義の恩恵を大きく受けてきた証券会社として、社会に広がる格差の問題に対して取り組むことが私たちの責任だと考えています。なかでも子どもの貧困の深刻化に関しては貧困の連鎖を食い止めるためにも重要な課題だと捉え、新しいプロジェクトをスタートさせています。



FACT

## 日本の子どもの7人に1人が貧困



7人に1人という深刻な我が国の子どもの貧困問題。日本の子どもの貧困率は1980年代から増加傾向で、特に母子世帯等の子どもの貧困は引き続き深刻です。一見すると同じように学校に通っている子どもたちも、学習や進学、食事や医療等の面で不利な状況に置かれたことで、学力や将来の所得にも大きな影響を与え、ひいては長期的には国力の低下にも直結します。

子どもの貧困率



出典:平成28年 国民生活基礎調査の概況

## なぜ、子どもの貧困に取り組むのか



金融市場は資本主義の象徴であり、証券会社はその恩恵を受けてきました。資本主義によって生み出された社会の“ゆがみ”としての格差問題。大和証券グループは、この課題解決のためには、特に子どもの貧困問題にアプローチすることが不可欠であると考え、2017年度より包括的なプロジェクト「大和証券グループ 夢に向かって! こどもスマイルプロジェクト」をスタートさせました。

## 自立支援へ多角的な支援を。 「大和証券グループ 夢に向かって! こどもスマイルプロジェクト」始動。



本プロジェクトの一環として、大和証券グループでは、公益財団法人パブリックリソース財団とともに、子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的にプログラム※を新たに開始し、子どもの貧困問題に取り組む NPO 法人等への支援を行なっていきます。

当初5年間で大和証券グループから総額1億円程度を寄付することを想定しており、支援先は公募の上決定されます。2017年度は3団体が採用されました。

※大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金

## REPORT

### 2017年度授与式

全国から104件の応募があり、審査会による面談も含む厳正なる審査の結果、選定されました。



左から SOS 子どもの村 JAPAN (福岡県福岡市)、大和証券グループ本社社長中田、PIECES (東京都文京区)、Learning for All (東京都新宿区)



4 質の高い教育を  
みんなに



# 生きる力を身に付けるため お金についての 教養を幅広い世代へ

幅広い世代のお金に関する知識や教養を高め、市場のお金の流れを活発にすることが、未来の金融市場の活性化につながると考え、多様な学びの機会を提供しています。

## 経済・金融教育

大和証券グループは、経済・金融教育を通じて、将来の社会を担う青少年が自らの判断にもとづいて行動し、主体的に生きる力を身に付けることを目指しています。



## ライフプランニングや 資産形成についての学びの機会を提供

今日、社会生活を行なっていく上では、経済や金融に関する生きた知識は欠かせません。また、人生を豊かなものにするためには、ライフプランニングや資産形成についての知識も必要です。



## 「株式」について知ろう



大和証券グループは、私たちが金融市場を通じ世の中の役に立っていること、そして投資は豊かな人生につながることを子どもたちにも理解してもらいたいとの思いから、企業や株式の仕組み、証券会社の役割について、学校等でのレクチャーやさまざまな媒体を通じて発信しています。



## 「おしごととはくぶつかん」への協力

大和証券グループは、キャリア教育教材「おしごととはくぶつかん」(朝日新聞社)に協力しています。同教材は、キャリアに関するミスマッチという社会課題に対して、子どもたちが主体的に進路を選択・決定できる能力を高めることを目的にしています。書籍版「おしごと年鑑」は、仕事に関して子どもが素朴に抱く質問に対して、企業の担当者が丁寧に答えるわかりやすい構成になっており、授業で使えるように学習指導要領にも対応しています。同書は、全国の小中学校全校へ寄贈され、今後子どもたちのキャリア教育に活かされることが期待されます。



ウェブサイトでも!

「おしごととはくぶつかんキッズ」  
<https://www.oshihaku.jp/kids/>

## ダイワインターネットTV

ダイワインターネットTVを通じ、経済・社会および投資に関する情報を無料でどなたにでも提供しています。この取組みは、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに」のカテゴリーで、国連グローバル・コンパクト®により国連 SDGs 業種別ベストプラクティス (SDG Industry Matrix) に選ばれました。

※国連グローバル・コンパクト:各企業・団体が、リーダーシップを発揮することによって持続可能な成長を実現するための世界的なイニシアティブ



Web [ダイワインターネットTV http://www.daiwatv.jp/](http://www.daiwatv.jp/)





# すべての社員が 働きがいを感じられる 企業を目指して

ワーク・ライフ・バランスの推進および健康経営等を通じて、すべての社員が働きがいを感じられる職場を目指しています。

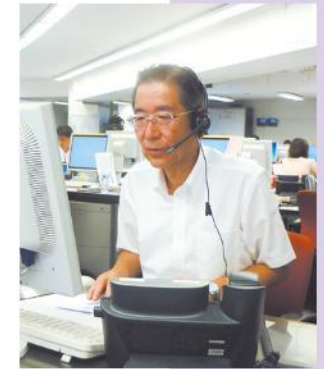


◎ WLB の代表的な取組み

## ベテラン社員の活躍支援

日本社会の高齢化とともに、大和証券グループの社員の高齢化も進んでいる現状に対応するため、2017年度より営業員の70歳の年齢上限を撤廃しました。働く意欲のあるベテラン社員へ、多様な選択肢を設けています。豊富な経験と知識だけではなく、ご高齢のお客様に寄り添った営業ができるという利点もあると考えています。

年齢を問わず、すべての社員が高い志を持ち、安心して持てる力を最大限発揮できる環境づくりに、今後も積極的に取り組んでいきます。



## ワーク・ライフ・バランス (WLB) の推進

大和証券グループは、経営戦略のなかで「若手からベテランまですべての社員がモチベーション高く働き続けることができる環境整備を進めること」を掲げています。

「高次元のワーク・ライフ・バランスの実現」に向けて、仕事と生活の調和のとれた働き方の追求と、多様な働き方ができる職場環境の充実を目指し、19時前退社の励行や年休取得の促進、「家族の職場訪問」の実施、男性育児休業取得促進のほか、仕事と育児・介護との両立支援制度の整備や社員の意識改革にも積極的に取り組んでいます。



WLB についての各種取組みや外部評価など、詳しくはこちら！

[http://www.daiwa-grp.jp/corporate/corporate\\_08\\_02.html](http://www.daiwa-grp.jp/corporate/corporate_08_02.html)

## 健康経営の強化

### KA・RA・DA いきいきプロジェクト ～ Healthy Lifestyle ～

従来よりウォーキングチャレンジ、腹八分目プログラム、禁煙チャレンジなどの取組みを進めてきましたが、2016年度よりスタートしたこのプロジェクトは、健康無関心層（若年層等）を含めた“全社員の健康意識向上”を目的としています。

健康増進イベントや健康リテラシー講座への参加の度合いに応じて、ポイントを付与し、その獲得ポイント数で、健康関連グッズや健康飲料、TABLE FOR TWO ※への寄付等の景品と交換することができる仕組みです。

一人ひとりの健康増進のためには、全社員の健康意識向上が極めて重要だと考えています。

※ TABLE FOR TWO：特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International が展開するプログラム。20円の寄付金が開発途上国の子どもの学校給食1食分に充てられる。



健康経営に関するその他の取組みや外部評価など、詳しくはこちら！

[http://www.daiwa-grp.jp/corporate/corporate\\_09.html](http://www.daiwa-grp.jp/corporate/corporate_09.html)





社会が抱える課題について、解決のために少しでも力になることを願って—。大和証券グループでは、地域社会や市民社会とともに考え、取り組んでいます。NPO / 公益財団法人の方々から、ご意見をお寄せいただきました。



公益財団法人パブリックリソース財団  
専務理事  
岸本 幸子 氏

### 貧困の連鎖を断つために

大和証券グループは、持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、貧困状況下にある子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に、「大和証券グループ 夢に向かって!子どもスマイルプロジェクト」を開始されました。貧困問題に、日本の金融機関として先陣を切って取り組まれたことに敬意を表します。

当財団では、大和証券グループからのご支援をもとに「大和証券グループ 輝く未来へ 子ども応援基金」を創設し、将来の貧困リスクを低減するようなNPO等による先駆的な取組みを支援しています。本基金の活動を通じ、子どもの貧困対策におけるイノベーションを促進すると同時に、大和証券グループのステークホルダーである多くの個人・法人の皆様へ現状をお伝えし、ともに貧困の連鎖や格差拡大の防止に取り組む機運を高めていきたいと思います。



公益財団法人パブリックリソース財団の詳細はこちら

<http://www.public.or.jp/>



「大和証券グループ 輝く未来へ子ども応援基金」の詳細はこちら

[http://www.public.or.jp/PRF/fund/fund\\_16/](http://www.public.or.jp/PRF/fund/fund_16/)

### テクノロジーで 途上国の社会課題を解決

大和証券グループの皆様には、コペルニク創設当初の2010年から、「革新的なテクノロジーを途上国の貧困層に届け、人々の生活向上と自立を支援する」という私たちの活動にご理解と数多くのご支援をいただき、心より感謝しております。これまで9,000個以上の現地の人々の生活に役立つ製品<sup>※</sup>の普及をご支援いただき、45,000人の貧困層の人々の生活改善に貢献いただいております。

大和証券グループのCSR活動は、企業としての社会的責任とビジネス上のミッションを融合されるとともに、プロジェクトの効果を重視しておられ、日本企業のCSR活動の先駆的役割を担われていると実感しています。これからも、先進的な取組みへの支援を通して、日本のCSR活動をリードしていただければと期待しております。

※現地に必要なテクノロジーであり、かつその地域に適した価格で購入できる



米国NPO法人  
コペルニク共同創設者 兼 CEO  
中村 俊裕 氏



コペルニクの詳細はこちら

<https://kopernik.info/jp>



調理用コンロ実演の様子



ソーラーライト